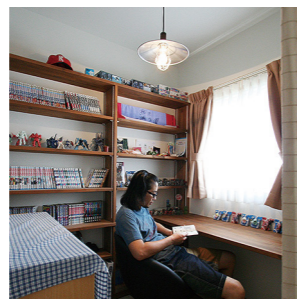




お客さんのことを一番に考えてくれました。
本当にいい家を建ててるのが分かった。



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.018
カムホームストーリー
南国市・Sさん家
竣工:2010年11月
設計担当:岡本 理絵



「タイセイさんは本当にいい家を建ててる、というのが分かりました」

お子さんが小学校に上がる前にと、家づくりを計画したSさまご夫妻。土地探しからはじめ、住宅展示場を訪れては「しっくりこない…」と感じていました。ある日、近所の人から「好きそうな雰囲気だよ」と教えてもらって旦那さまと参加した見学会。売り込みがないことや他とは違ったというスタッフの対応、社長自身が親身になって「土地を探して交渉してみる」と、快く引き受けてくれたのはタイセイホームが初めてでした。「利益だけじゃなくて、お客さんのことを一番に考えてくれました」と、心からSさまの家づくりをサポートしてくれた社長やスタッフが「信頼できる会社」につながったと言うお二人です。家の雰囲気も良く、自然素材にこだわっているけどそんなに高くない、「少しでも私たちの負担が少なくなるようにしっかり考えてくれました」と、家づくりに対するタイセイホームの考え方に「本当にいい家を建ててるのが分かった」「信頼できたのが一番」だと、一生に一度の家づくりをタイセイホームに任せる決断をされたSさまご夫妻です。

「帰ってきたくなる家です」

「打合せが楽しみでした」と話すSさまご夫妻。悩みだしたら止まらないという奥さまは、「決める」という努力をしたと言います。「空間を広く見せたい」というのが一番の希望。いつも凶面とにらめっこしながら動線やどこに何をどれくらい置かかを考え、何度も自分たちの暮らしを想像しました。和室の扉は完全オープンにできるよう引き込み式に、扉自体は一枚の板にせず中空ポリカーボネートというプラスチックの材料でオーダーしました。冷暖房を効率よく活用させ、どちらからの光も取り入れることができ圧迫感を感じにくいつくりです。「和の雰囲気も出し過ぎたくないです」と奥さま好みのナチュラルな雰囲気にとけ込んだ和室に大満足です。寝室の奥にカーテンで仕切られた2帖と少しの書斎スペース。壁一面ぴったりとつくられたオーダーの棚とカウンターに旦那さまが大切にされているコレクションがぎっしりと並んでいます。「広すぎず秘密基地みたいですぐに手が届くこの広さがちょうどいいですよ」と自由に好きなものを楽しめる、旦那さまの心とむ空間です。

「巡り逢えて良かったです。幸せ、感謝です。」

「今だに木の匂いがするし、木の風合いがすごくいいです」と笑顔を覗かせる奥さま。かわいい雑貨が大好きで「ちょっとしたものも絵になる」と、ところどころに設けたニッチや飾り棚に自らアレンジした雑貨やドライフラワーを飾り、今までできなかったインテリアを楽しんでいると言います。自然素材のキズやへこみも「味とっているので全然気になりません」と、暮らしに自然と寄り添う木の風合いがより一層インテリアを惹き立たせています。お友達とお庭を眺めながらウッドデッキでお昼ご飯を食べたり、お客さんを招いてバーベキューをするのもSさまご一家では恒例イベントになりました。「家を建てたら」と諦めていた庭いじりや犬を飼うことも実現し、今では芝生を敷いた広いお庭と日当たりのいいウッドデッキが暮らしの中心になっています。お庭の一角で愛情いっぱい育てた野菜はまた格別。スーパーで買ったものではなく、できるだけ種から育て収穫したもので料理をする。家族で自然の恵みをいただく喜びを味わいながら、幸せを噛みしめるSさまご家族の暮らしです。